

【学校評価資料】

令和6年度 学校評価



アンケート回答数

- ◆児童… 290名（回答率 96%）
- ◆保護者… 291名（回答率 97.3%）
- ◆教職員… 25名（回答率 100%）

令和7年3月3日

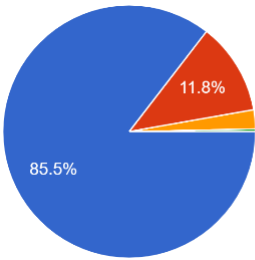
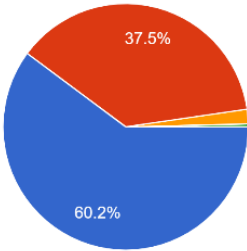
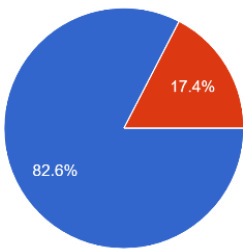
小野市立大部小学校

目 次

◆設問ごとの結果・考察・今後の取組	1～15
・ 学校生活の満足度	1
・ 学校生活の充実	2
・ 基本的生活習慣の確立	3
・ 家庭内の会話・団らん 家庭と学校での共有	4
・ 家庭内の相談体制 家庭と学校の連携	5
・ 児童の内面理解と適切な指導・支援	6
・ 悩みや困り感の解消	7
・ 学習の理解と定着	8
・ 学びの工夫	9
・ 思いやりの心の育成	10
・ 人権尊重の意識化 やさしい言葉遣い	11
・ 体力の向上 健康の増進	12
・ 安全の確保 交通ルールの順守	13
・ 情報の発信と共有	14
・ 教育環境の整備	15
◆学校評価でいただいたご意見への回答	16・17

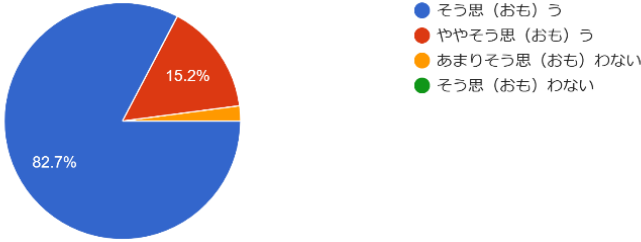
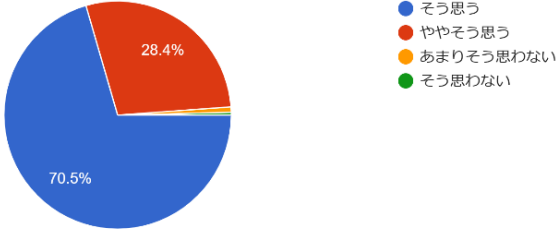
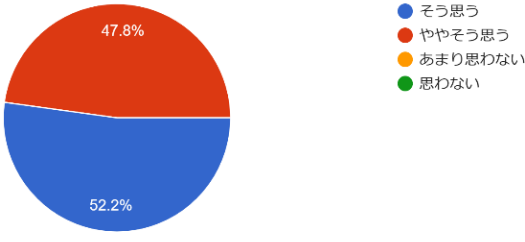
学校評価 2024（大部小）の分析・総括 （1 / 15）

1. 学校－01 学校生活の満足度

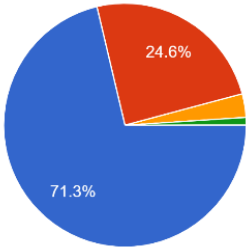
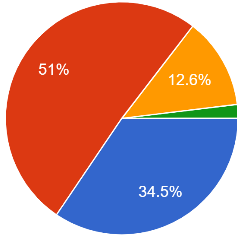
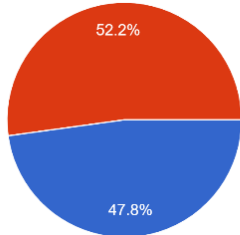
児 童	
学校や学級では楽しく過ごせている。	
	● そう思（おも）う ● ややそう思（おも）う ● あまりそう思（おも）わない ● そう思（おも）わない
保 護 者	
お子さんは、学校へ行くのを楽しみにしている。	
	● そう思う ● ややそう思う ● あまりそう思わない ● そう思わない
教 職 員	
子どもたちは、学校や学級で楽しく過ごせている。	
	● そう思う ● ややそう思う ● あまり思わない ● 思わない
【考察】	
肯定的評価がすべての対象で95%を超えている。また、「そう思う」と回答した割合がすべての対象で昨年度よりアップしている。ウェルビーイングな学校づくりの効果が表れていると考える。しかし、「楽しい」と感じていない児童がいることを見逃してはいけない。児童一人ひとりに寄り添ったていねいな対応を行っていく。	

学校評価 2024（大部小） （2／15）

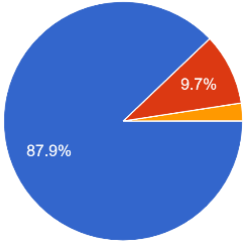
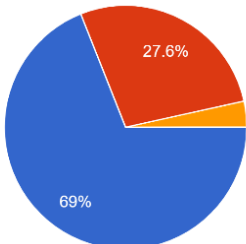
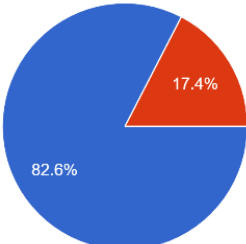
2. 学校－02 学校生活の充実

児 童
わたしは、毎日学校での勉強・そうじ・係の仕事などをがんばっている。  ● そう思（おも）う ● ややそう思（おも）う ● あまりそう思（おも）わない ● そう思（おも）わない
保 護 者
お子さんは、学校で充実した生活（学習・生活）を過ごしていると感じる。  ● そう思う ● ややそう思う ● あまりそう思わない ● そう思わない
教 職 員
子どもたちは、自ら進んで自分の役割を果たし、充実した学校生活を過ごせている。  ● そう思う ● ややそう思う ● あまり思わない ● 思わない
【考察】 多くの児童が充実した学校生活を送ることができていると評価しており、保護者、教職員もその充実ぶりを感じ取ることができている。また、「そう思う」評価もすべての対象で昨年度より2～7%アップしている。今後も引き続き、児童が学びと成長を実感することができるような教育活動を積極的に行っていきたい。

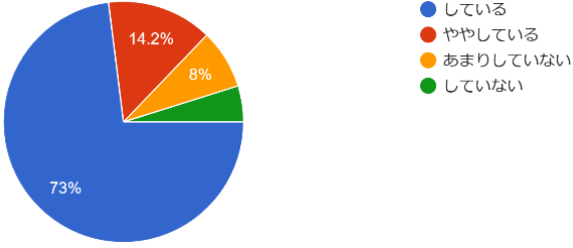
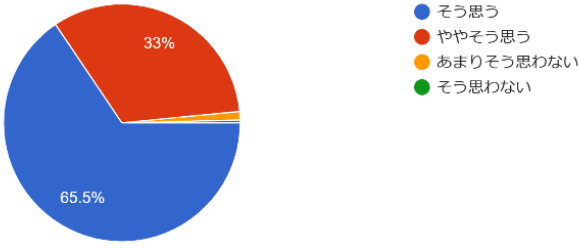
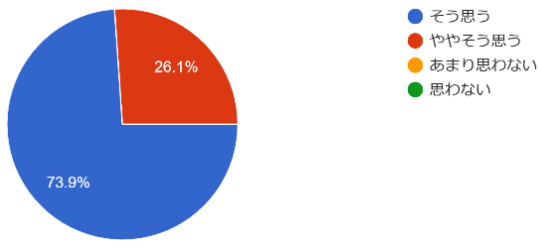
3. 学校－03 基本的生活習慣の確立

児 童
わたしは、進んであいさつをしたり、チャイムを守ったり、忘れ物をしないなど、気をつけている。  ● そう思（おも）う ● ややそう思（おも）う ● あまり思（おも）わない ● そう思（おも）わない
保 護 者
お子さんは、基本的な生活習慣（挨拶・時間を守る・後片付け・身だしなみ等）が身についている。  ● そう思う ● ややそう思う ● あまりそう思わない ● そう思わない
教 職 員
子どもたちは、基本的生活習慣（挨拶・時間を守る・後片付け・身だしなみ等）を身につけてきている。  ● そう思う ● ややそう思う ● あまり思わない ● 思わない
【考察】 保護者の否定的評価の割合が15%近くを占めており、児童、教師の評価とのずれが確認できる。学校でも、家庭でも、規則正しい生活を送ることができるよう、児童の自律心を育む生活指導を行うとともに、学校からの便り等で保護者、地域とも共有し合い、同一步調で児童に関わっていくことができるようにする。

2. 保護者－01 家庭内の会話・団らん 家庭と学校での共有

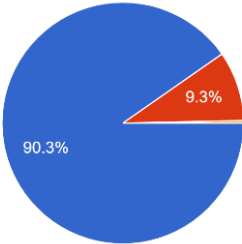
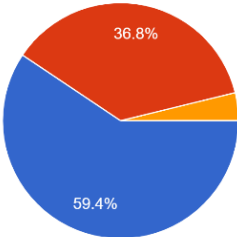
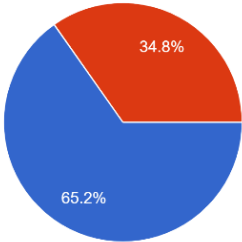
児 童
わたしは、おうちの人と勉強したり、お話したり、いっしょに食事をしたりしている。  ● そう思（おも）う ● ややそう思（おも）う ● あまりそう思（おも）わない ● そう思（おも）わない
保 護 者
家庭では、家庭学習（宿題）の様子を見たり、会話したり、一緒に食事をとったりしている。  ● そう思う ● ややそう思う ● あまりそう思わない ● そう思わない
教 職 員
学校（教員）は、子どもの様子や指導・支援について、家庭訪問や個人懇談などを通して把握しようとしている。  ● そう思う ● ややそう思う ● あまり思わない ● 思わない
【考察】 すべての対象において、肯定的評価の割合が95%を超えており、児童、保護者、学校が良好な関係を築くことができていると考えられる。しかし、否定的な評価をした児童や保護者が一定数いる点も気になる。その要因は何なのかをしっかりと見極め、学校と家庭が連携してその対策にあたっていくことが必要であるとする。

2. 保護者－02 家庭内の相談体制 家庭と学校の連携

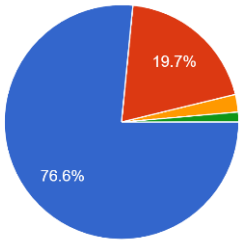
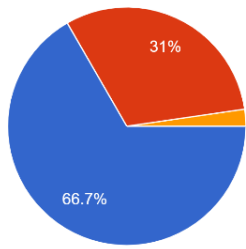
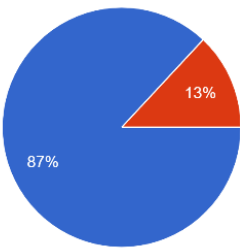
児 童
わたしは、困ったことがあれば、おうちの人に相談するようにしている。  ● している ● ややしている ● あまりしていない ● していない
保 護 者
家庭では、日頃からお子さんの実態把握に努め、特に困りごとに対しては、相談にのるよう心がけている。  ● そう思う ● ややそう思う ● あまりそう思わない ● そう思わない
教 職 員
学校（教員）は、日ごろから子どもに関する相談や悩みなど、面談・電話などを通して子どもや保護者との連携を密にしている。  ● そう思う ● ややそう思う ● あまり思わない ● 思わない
【考察】 約13%の児童が、困ったことがあってもお家の人に「あまり相談していない」「していない」と回答している。悩みや不安を一人で抱え込んでしまうことがないよう、保護者、教師がしっかりと見守り、相談しやすい雰囲気を作っていく必要がある。学校としては、今後も引き続き、生活アンケート等で児童の内面理解に努めていく。

学校評価 2024（大部小） （6／15）

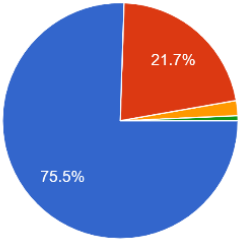
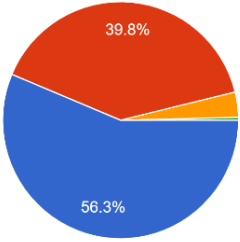
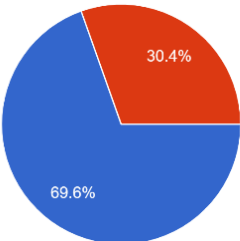
3. 教職員－01 児童の内面理解と適切な指導・支援

児 童	
先生は、ほめたりはげましたり、あるいはまちがったことはきちんと注意してくれる。	
	● そう思（おも）う ● ややそう思（おも）う ● あまり思（おも）わない ● そう思（おも）わない
保 護 者	
学校は、一人一人の児童を良く理解し、個性を大切にしながら、社会性も育てている。	
	● そう思う ● ややそう思う ● あまりそう思わない ● そう思わない
教 職 員	
学校（教員）は、子どもの自主性に任せる部分としつける部分のバランスの取れた教育活動に取り組んでいる。	
	● そう思う ● ややそう思う ● あまり思わない ● 思わない
【考察】	
すべての対象において肯定的評価の割合が高くなっている。また、「そう思う」と回答した割合も、すべての対象において昨年度から5～8%アップしている。教師の指導や支援を児童はしっかりと受け止めており、保護者もそれを感じ取っている。今後も引き続き、ゆるやかでやさしく、ていねいな指導・支援を心がけていきたい。	

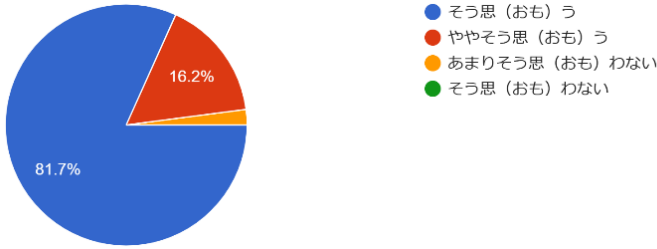
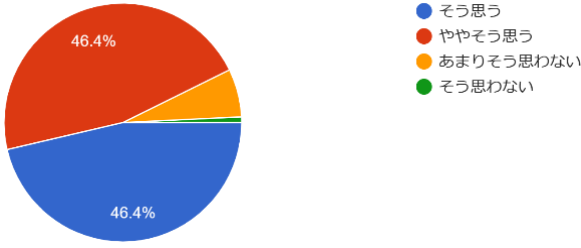
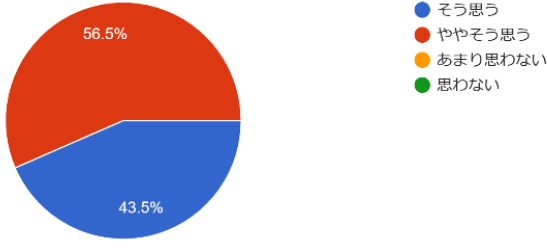
3. 教職員－02 悩みや困り感の解消

児 童
わたしが悩んだり、困ったりしたとき、先生に相談するときちゃんと解決してくれる。  ● そう思（おも）う ● ややそう思（おも）う ● あまりそう思（おも）わない ● そう思（おも）わない
保 護 者
学校は、児童や保護者の悩みに対して、丁寧（適切）に相談に応じ、対応している。  ● そう思う ● ややそう思う ● あまりそう思わない ● そう思わない
教 職 員
学校（教員）は、子ども理解に努め、保護者からの相談や子ども間のトラブル等にきちんと対応している。  ● そう思う ● ややそう思う ● あまり思わない ● 思わない
【考察】 すべての対象で肯定的評価の割合が高くなっている一方で、「先生は自分の悩みや困り感を解決してくれていない」と回答している児童が4%近くいることを重く受け止めている。早期発見・対応・解決に尽力していくとともに、その後のフォローをていねいに継続して行っていくことで、真の解決につなげていきたい。

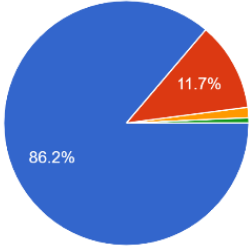
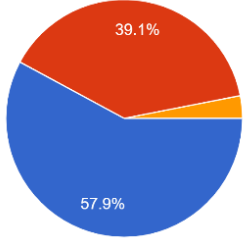
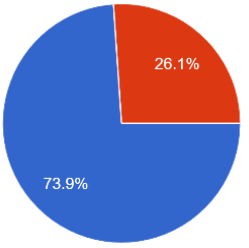
4. 学習－01 学習の理解と定着

児 童
学校の学習・授業は楽しくて、よくわかる。  ● そう思（おも）う ● ややそう思（おも）う ● あまりそう思（おも）わない ● そう思（おも）わない
保 護 者
学校は、児童の学習内容の理解度を把握し、わかりやすい授業、適切な課題の設定を行っている。  ● そう思う ● ややそう思う ● あまりそう思わない ● そう思わない
教 職 員
学校（教員）は、ねらいを明確にしたわかる授業や適切な指導支援によって、基礎学力の定着をはじめ、学力の向上に取り組んでいる。  ● そう思う ● ややそう思う ● あまり思わない ● 思わない
【考察】 教師は様々な工夫を凝らしながら基礎学力の定着や学力の向上に取り組んでいるが、すべての児童や保護者に評価してもらえていないこの状況をしっかりと受け止める必要がある。誰一人取り残すことのない「個別最適な学び」を保障するために、さらなる授業改善に取り組んでいかなければならないと考える。

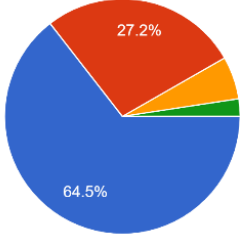
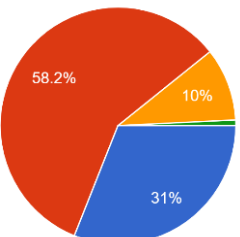
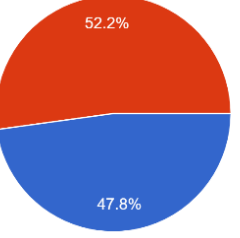
4. 学習－02 学びの工夫

児 童
教科によって担任以外の先生と学習すると、楽しく取り組むことができ、内容もよく分かる。  ● そう思（おも）う ● ややそう思（おも）う ● あまりそう思（おも）わない ● そう思（おも）わない
保 護 者
学校は、兵庫型学習システム（少人数指導・複数指導・教科担任制）やGIGAスクール構想（ICT機器・タブレット端末等の利活用）による指導・支援を工夫している。  ● そう思う ● ややそう思う ● あまりそう思わない ● そう思わない
教 職 員
学校は、兵庫型学習システム（少人数指導・複数指導・教科担任制）やGIGAスクール構想（ICT機器・タブレット端末等の利活用）による指導・支援を工夫している。  ● そう思う ● ややそう思う ● あまり思わない ● 思わない
【考察】 学校が行っている「兵庫型学習システム」や「GIGAスクール構想」が、保護者に十分理解してもらえていないことが浮き彫りになった。高学年における教科担任制、全学年における専科指導や同室複数指導、タブレット端末の活用等、本校が行っている「学びの工夫」をオープンスクールや学校だより、HP等を通じて伝えていく。

5. 人権教育－01 思いやりの心の育成

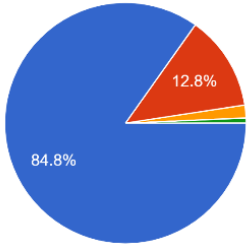
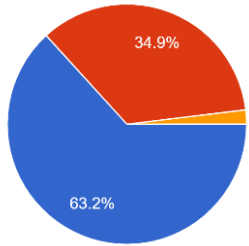
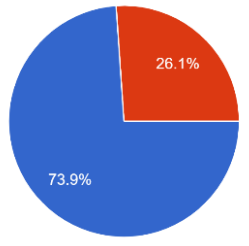
児 童
わたしは、まわりの人にやさしくし接したり、友だちとは仲よく遊んだりしている。  ● そう思（おも）う ● ややそう思（おも）う ● あまり思（おも）わない ● そう思（おも）わない
保 護 者
学校は、道徳や人権の学習を通して、いじめを許さない心や思いやりの心を育てる教育を推進している。  ● そう思う ● ややそう思う ● あまりそう思わない ● そう思わない
教 職 員
学校（教員）は、子どもの権利を大切にしながら、豊かな心や生命を尊重する教育活動を推進している。  ● そう思う ● ややそう思う ● あまり思わない ● 思わない
【考察】 児童は、日々の学校生活の中で、「やさしさ」や「思いやり」を大切にする心を育んでいるようである。道徳や人権学習の中で学んだことを、児童会活動や学級活動の中で意識したり実践したりした経験値が、この回答結果に表れているととらえている。今後も引き続き、ウェルビーイングな学校の具現化に尽力していく。

5. 人権教育－02 人権尊重の意識化 やさしい言葉遣い

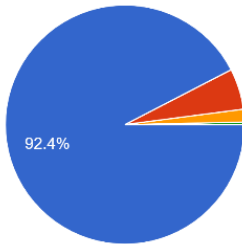
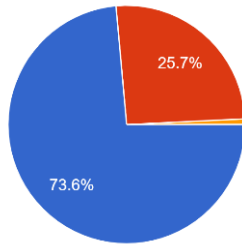
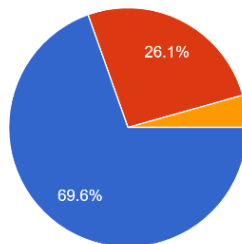
児 童
わたしは、友だちを「さん」「くん」づけで呼んだり、やさしいことばで話しかけたりしている。  ● そう思 (おも) う ● ややそう思 (おも) う ● あまりそう思 (おも) わない ● そう思 (おも) わない
保 護 者
お子さんは、正しい言葉遣いをし、相手の気持ちや立場を考えて人と接している。  ● そう思う ● ややそう思う ● あまりそう思わない ● そう思わない
教 職 員
子どもたちは、人権・道徳学習に意欲的に取り組み、自他を尊重しようとする態度や実践力が育っている。  ● そう思う ● ややそう思う ● あまり思わない ● 思わない
【考察】 児童、保護者の否定的評価の割合が、他の項目に比べて高くなっている(児童8.3%、保護者 10.8%)。「やさしい言葉遣いをすることが相手を大切にすることにつながる」という考え方が、実感を伴って育まれていないように感じる。今後は、ウェルビーイング具現化の重要課題にこの「やさしい言葉遣い」を位置づけ、学校、家庭、地域が一丸となって取り組んでいきたい。

学校評価 2024（大部小） （12／15）

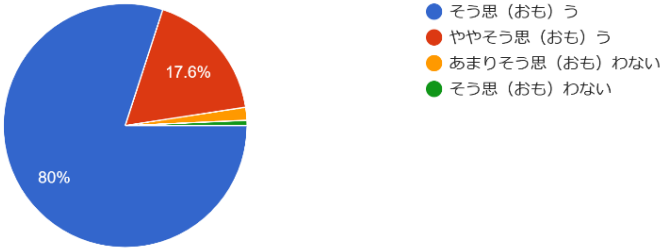
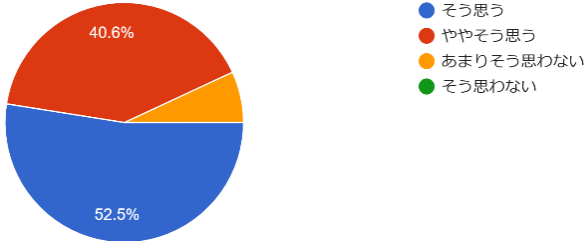
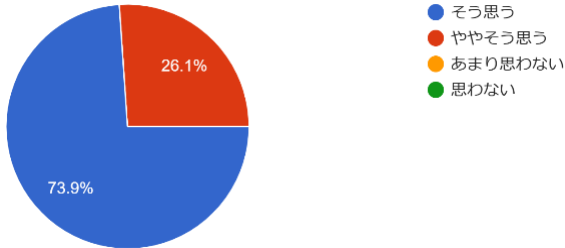
6. 健康安全－01 体力の向上 健康の増進

児 童
わたしは、体育の授業や休み時間などで体を動かしたり、給食をしっかりと食べたりして、心も体も健康で元気に過ごしている。  ● そう思（おも）う ● ややそう思（おも）う ● あまりそう思（おも）わない ● そう思（おも）わない
保 護 者
お子さんは、学校での遊びや体育（運動）、食育（給食）を通して、心身の健康や体力が向上していると感じる。  ● そう思う ● ややそう思う ● あまりそう思わない ● そう思わない
教 職 員
学校は、学校での遊びや体育（運動）、食育（給食）を通して、心身の健康や体力の向上に取り組んでいる。  ● そう思う ● ややそう思う ● あまりそう思わない ● 思わない
【考察】 多くの児童が毎日元気に過ごすことができていると評価している。この基本となるのが「早寝、早起き、朝ご飯」「十分な睡眠」「適度な運動」など、基本的な生活習慣の確立である。学校と家庭が連携をとって児童の体力向上、健康増進を図っていくとともに、健康教育を充実させ、児童の自律性を育てていきたいと考えている。

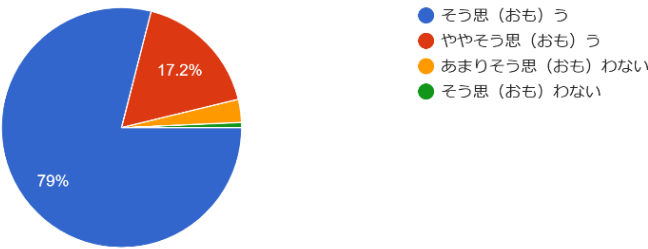
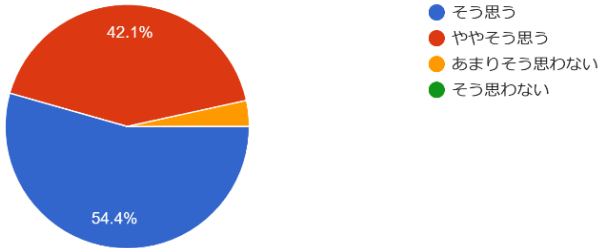
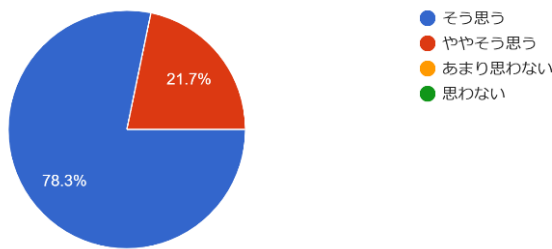
6. 健康安全－02 安全の確保 交通ルールの順守

児 童	
わたしは、交通ルールを守って安全に登下校したり、危ない目に合わないよう気をつけたりしている。	
	● そう思（おも）う ● ややそう思（おも）う ● あまりそう思（おも）わない ● そう思（おも）わない
保 護 者	
お子さんには、交通ルールを守ることや周りの危険から身を守るよう、いつも注意を促している。	
	● している ● ややしている ● あまりしていない ● していない
教 職 員	
学校は、子どもたちの登下校や帰宅後の生活について、安全指導や安全教育に積極的に取り組んでいる。	
	● そう思う ● ややそう思う ● あまり思わない ● 思わない
【考察】	
児童と保護者・教職員の「そう思う」評価に隔たりがみられる。児童は安全な登下校ができているととらえているが、保護者、教職員はそうは思っていないということである。児童の登下校の様子に対して、地域からの苦情も少なからずある。学校、家庭、地域が連携して、児童の安全に対する当事者意識をより高めていく必要がある。	

7. 学校経営－01 情報の発信と共有

児 童
わたしは、学校やクラスできめためあてやきまりなどを、しっかりと守って生活している。  ● そう思（おも）う ● ややそう思（おも）う ● あまりそう思（おも）わない ● そう思（おも）わない
保 護 者
学校・学年通信やホームページ、配布物、オープンスクール等を通して、学校の教育方針（大部小の教育・旭丘中校区の小中一貫教育）や学校の様子などがわかりやすく伝わっている。  ● そう思う ● ややそう思う ● あまりそう思わない ● そう思わない
教 職 員
学校（教員）は、学校・学年通信やHP・メール、連絡帳やプリントなどを通して、積極的に情報を共有している。  ● そう思う ● ややそう思う ● あまり思わない ● 思わない
【考察】 学校は積極的に情報発信をしているつもりであったが、保護者には十分伝わっていないという現状が浮き彫りになった。学校としての情報発信の仕方を見直し、より確実に分かりやすく伝えて情報共有を深めていくことができるよう尽力していく。3学期から導入している「スクリレ」アプリを有効に活用していきたい。

7. 学校経営－02 教育環境の整備

児 童
わたしは、学校でみんなが使うものや一人一鉢の花などを大切にしている。  ● そう思（おも）う ● ややそう思（おも）う ● あまりそう思（おも）わない ● そう思（おも）わない
保 護 者
学校の施設設備・掲示物等は工夫や安全への配慮がされ、教育環境が整っている。  ● そう思う ● ややそう思う ● あまりそう思わない ● そう思わない
教 職 員
学校（教員）は学校の施設設備・掲示物等は工夫や安全への配慮しながら、教育環境を整えようとしている。  ● そう思う ● ややそう思う ● あまり思わない ● 思わない
【考察】 児童、教職員の学校環境整備に対する意識は高くなっている。保護者についても、「そう思う」と評価した割合が昨年度より13%程度高くなっており、一定の評価を得ることができている。今後も引き続き、施設整備も含めた教育環境の充実を図っていくとともに、児童が主体的に環境を整えようとする意識を醸成していきたい。

学校評価でいただいたご意見への回答

学校評価の自由記述欄にいただきましたご意見とその回答を以下に記しています。即対応とできないものもありますが、今後の参考にさせていただき、対応にあたっていきたいと思えます。

1 本校の教育活動への感謝のおことば

以下のようなおことばをいただいております。

- いつも親身になって話を聞いてくださり感謝いたします。
- 毎日楽しんで学校へ行っています。これも先生方のおかげです。
- 休み時間に先生と遊ぶのが楽しいそうで、教室外でも子どもたちと関わっていただき感謝しています。
- 学校全体があたかな支援でありがたく思っています。
- いつも子どもの個性を尊重し、学習しやすい環境を整えてくださって、本当にありがたく思っています。お互いの個性を認め合えるような学校であってほしいと願います。
- 個々を大切にいただき、ありがとうございます。

本当にうれしく思えます。ありがとうございました。

このおことばに甘えることなく、今後も引き続き、子どもたちのさらなる成長を促す教育活動に尽力していきたいと思えます。

2 給食当番着について

現在学校で使用している給食当番着のデメリットについてご指摘を受けております。「自分のサイズに合わない」「暑い時期の長袖はきつい」「洗濯洗剤が肌に合わない」などです。その代案として、個人持ちのエプロンや三角巾の使用を提案していただいております。建設的なご意見、ありがとうございます。

これまでから給食当番着は市での一括購入を行ってきた経緯があり、学校独自で変更することは容易でないのですが、今後の検討課題とさせていただきます。市教委、給食センターと協議し、PTAとも連携しながら、子どもたちにとってより適切な形を模索していきたいと思えます。

3 PTA役員の選出について

町によっては児童数が減少しており、その分、家庭数も減少していることから、町からのPTA役員（企画委員、評議員）の選出が困難になってきている

という実態があります。P T A役員の選出方法も、この実態に応じて変更していくべきではないかというご意見をいただきました。

来年度（令和7年度）は、3年に一度行っているP T A役員の選出基準の見直しの年となっておりますので、P T A会員の皆様のご意見を賜りながら、より良い形を探っていきたいと思ひます。貴重なご意見、ありがとうございます。

4 学校教育活動の深化・充実について

本校では、児童の発達段階に即した系統的な学習指導を、年間指導計画に基づいて実施しているところです。また、「主体的・対話的で深い学びの実現」を目指し、「一人学び」で個々の学びを充実させ、「ペア・グループ対話」や「みんな学び」での学び合いや高め合いによる学びの深まりを授業の中に創り出そうとしています。

しかし、私たち教職員の取組がまだまだ不十分であったと認識せざるを得ないご意見をいただきました。ありがとうございます。年間指導計画の見直し、個別最適な学びを実現するための授業改善、タブレット端末の有効活用等、学校全体としてのレベルアップを図っていきたいと思ひます。

5 学級閉鎖情報の共有について

インフルエンザ等の感染症による学級閉鎖情報を、他学年にも知らせてほしいというご意見をいただきました。そのことが注意喚起となり、さらなる感染拡大を防ぐことにつながるという理由も付け加えてくださっていました。本当にありがとうございます。

本校では、1月に2クラスが学級閉鎖となりましたが、その際、他学年にも保護者メールで注意喚起をさせていただきました。今後も引き続き、情報共有を図っていきたいと思ひます。

貴重なご意見をいただき、本当にありがとうございました。

今回の学校評価結果や考察、そして具体的にご意見いただいたことを今後にしっかりと生かしていくことができるよう、教職員で十分に熟議し対策を考えていきたいと思ひます。また、P T Aや学校評議員等、保護者、地域とも意見を交換し合いながら、広い視野をもって教育活動の充実を図っていきます。

一番大切なのは「子どもファースト」という視点です。このことを見失うことなく、教職員一丸となって、チーム大部として頑張っていきたいと思ひます。

今後も引き続き、保護者の皆様、地域の皆様のご理解とご協力をよろしくお願いいたします。